

2025 まちづくり協働コーディネーター (旧まちづくりアドバイザー) 活動事例集

【北 区】	(担当：田尾 純子)
船岡山魅力発信サイト「FUNAOKA」	1
北区こどものまちボードゲーム	1
【上 京 区】	(担当：亀村 佳都)
上京区民まちづくり活動支援事業	2
地域企業と大学生による地域課題解決プロジェクト	2
【左 京 区】	(担当：吉田 泰基)
「左京区民ふれあい事業」の支援	3
「まちづくりネットワーク形成事業」の支援	3
【中 京 区】	(担当：松井 朋子)
モバイル屋台を活用した月イチ「中京まちづくり相談 DAY」	4
地域の ICT 化促進のための地域×人財ミーティング	4
【東 山 区】	(担当：天岡 昌代)
住んでこそ！東山プロジェクト	
アップサイクルライフ東山プロジェクト～お試し居住～	5
住んでこそ！東山プロジェクト	
未来の住むまち東山をつくる交流会～みらひがし～	5
【山 科 区】	(担当：谷 亮治)
山科まちづくりチャレンジ応援事業	6
中高生年代の居場所「ゆうすぺーすやましな」事業	6
【下 京 区】	(担当：浅田 真実)
学区のまちづくり活動支援	7
市民対話会議	7

【南 区】	(担当：加藤 ゆうこ)	
複数課の連携による「親子防災ワークショップ」の開催サポート		8
地域の取組発信「情報ステーション」事業への協力		8
【右 京 区】	(担当：佐藤 友一)	
民生児童委員の活動継続のための意見交換と事例集作成		9
区民の自主的なまちづくり活動の情報収集や交流会運営		9
【西 京 区】	(担当：西原 秀倫)	
POP UP! 西京		10
西京まると出産応援事業		10
【西京区洛西支所】	(担当：木村 響子)	
「らくさいマルシェ」の今後についての検討		11
大原野「地域ブランド」戦略期間終了の展開についての検討		11
【伏 見 区】	(担当：朝倉 眞一)	
区民活動の広がり、継続に向けたサポート		12
地域の活動、関係機関などのつながりづくりのサポート		12
【伏見区醍醐支所】	(担当：山田 大地)	
重層的支援体制に向けた「つながるプラットフォーム meeting」の実施		13
醍醐における子どもはぐくみ活動の推進		13
【地域コミュニティサポートセンター】	(担当：小林 明音)	
自治会・町内会に関する情報収集・発信		14
「ええやんっ！まち活！」ブース		14

【北区】

船岡山魅力発信サイト「FUNAOKA」

【事業概要】

北区役所では、令和3年度から、北区の船岡山エリアの魅力を全国に発信する情報サイト「FUNAOKA」を開設しています。

プロのライターや学生ライターなどによる船岡山エリアの歴史・文化からグルメ、ショッピング、イベントなどの多様な115件の記事が掲載されています。また、紹介しているスポットをグーグルマップでも確認できます。



【役割／関わり方】

事業の企画・運営の支援、取材及び記事執筆

- 記事を読んだ人がこのエリアを訪れたいようなお店を中心に取材先を選定しました。
- 取材先の方の人柄とエリアの魅力が伝わるような記事作成を心掛けました。

北区こどものまちボードゲーム

【事業概要】

北区では、令和2年度に、子どもたちが遊びながらまちの賑わいづくりを体験し、社会の仕組みを学べるオリジナルゲーム「北区こどものまちボードゲーム」を制作し、令和5年度にはより気軽に楽しんでもらえる簡易版を制作しました。

令和6年度は、北区民ふれあいまつりやコミュニティスペース、児童館などで多くの子どもたちに体験してもらいました。



【役割／関わり方】

事業の企画・運営の支援

- ゲームを普及するための企画・運営に対し、アドバイスや支援を行いました。
- 体験会当日の企画・運営を行いました。
- 北区らしい要素を追加し改良するため、様々な人の意見を収集し、とりまとめました。

この事業を担当したアドバイザー 田尾 純子

【上京区】

上京区民まちづくり活動支援事業

【事業概要】

「上京区基本計画2025」の推進に向け、上京区役所では、区民の自発的、主体的なまちづくり活動に助成金を交付し、地域コミュニティの活性と区民参加によるまちづくりを進めています。

令和6年度は、文化、歴史、防災、健康、観光、環境、子どもの居場所、人とのつながりづくり等をテーマとする13の事業が採択されました。

写真：採択団体の取材の様子



【役割／関わり方】

事業の企画・運営の支援

- 審査会プレゼンテーションの運営を支援しました。
- 支援団体等に対してアドバイスや情報提供を行いました。
- 上京ふれあいネット「カミング」取材を通じて広報を支援しました。

地域企業と大学生による地域課題解決プロジェクト

【事業概要】

上京区役所では、一般社団法人京都中小企業家同友会（上京支部）及び同志社大学政策学部と連携し、地域企業と大学生が商品開発等を協働で行う取組を令和2年度から進めています。令和4年度からは、政策学部の授業を通じて上京のまちの魅力や区役所事業、地域企業が果たす役割について伝えるほか、大学生が地域に出て学ぶ取組を支援しています。

令和6年度は4つのチームができ、産官学連携事業を行いました。

写真：成果報告会の様子



【役割／関わり方】

事業の企画・運営の支援

- 同志社大学政策学部1回生を対象とした上京区の魅力や課題、地域企業の取組について学ぶ授業と座談会に参加し、4チームの活動内容を伝える成果報告会に出席しました。

この事業を担当したアドバイザー 亀村 佳都

【左京区】

「左京区民ふれあい事業」の支援

【事業概要】令和6年度の「左京区民ふれあい事業」では、11月に『左京区民ふれあいまつり』や『左京区民ふれあいウォーキング』等を開催しました。

開催にあたっては、「ワッショイ！さきよフレ」（企画・運営を一緒に取り組む若手有志9名の会）のメンバーと一緒に企画内容を複数回検討し、内容の充実を図りました。



今年度のふれあいまつりは「地域コミュニティの向上」をテーマとし、出展者と参加者だけでなく、事前交流会を通じて出展者同士の交流も図りました。また、まつり当日のグランドフィナーレでは、風船400個を使用したバルーンドロップを行いました。子どもたちが大喜びする姿がとても印象的でした。

【役割／関わり方】

ふれあい事業全般のトータルサポート

- 「ワッショイ！さきよフレ」会議の運営サポート
- ふれあいまつり及び事前出展者交流会の企画・運営支援
- ふれあいまつり「ええやんっ！まち活！」ブースでの、町内会インタビューの進行

「まちづくりネットワーク形成事業」の支援

【事業概要】令和6年度から、左京区役所にてメールマガジン『左京 LINKs』を配信しています。

区内のまちづくり活動・イベント情報や左京区役所からのお知らせのほか、区職員等が取材した「サキョウ見聞録」も好評で、登録者数は約370名（令和7年3月現在）です。



また、2月8日には、『左京区まちづくり交流会2025』を開催しました。今年度は通常の交流会（まちづくり団体からの報告やワークショップ等）の後に夜カフェのプログラムを行い、当日は大雪の中、100名を超える参加があり、皆さん熱心に交流されていました。

【役割／関わり方】

事業全般のトータルサポート

- メルマガの初期構想段階の企画提案
- メルマガで掲載するまちづくり活動団体のコーディネート
- まちづくり交流会の企画プログラム支援及び講師紹介・コーディネート
- まちづくり交流会の当日運営・ワークショップ進行支援

この事業を担当したアドバイザー 吉田 泰基

【中京区】

モバイル屋台を活用した月イチ「中京まちづくり相談 DAY」

【事業概要】 よろずまちづくりに関する相談ブースを月1回第4水曜日、中京区役所の1階区民ホールにて開催中。ブースは、赤白テントのモバイル屋台を活用し、チラシやリーフレット等、通りがかりの区民さんの目につくよう配置しています。これまで、元学区、町内会、地藏盆、京町家、避難所、高齢者の居場所、子育て団体、スマホの使い方、マンションでのコミュニティ等様々な相談があり、必要ならば適切な部署へおつなぎしています。



【役割／関わり方】よろずまちづくり相談の対応

- モバイル屋台の制作、ディスプレイの工夫
- 子育て団体、高齢者ボランティア等相談対応で必要そうな情報収集
- 専門部署への連絡のつなぎ、活動団体への紹介、ボランティアコーディネート
- 過去のまちづくり活動の事例紹介
- 助成金制度やボランティア寄付情報などの提供
- 直近のまちづくりイベント情報の紹介 等

地域のICT化促進のための地域×人財ミーティング

【事業概要】 地域のICT化促進についてお悩みを抱えている地域団体や地域活動・ボランティア活動に興味がある大学生団体の方々との交流を図るミーティングを2回実施し、明倫学区と立命館大学産業社会学部社会調査実習質的調査チーム、朱三学区と立命館大学国際ボランティアサークルR i t s B L O Hとのマッチングが成立しました。いずれもスマホ教室を継続的に実施し、地域活動のお手伝いや地域を知るまちあるき等も検討しています。



【役割／関わり方】新規事業の企画、調整、営業、実施、運営支援

- 企画内容の事前調整（地域、大学との実施調整、お試しスマホ教室実施）
- 大学学生課、大学の教員、ボランティアサークル等への事業説明
- 学区代表者会議等での事業説明
- 当日の司会進行
- マッチング（双方の意思確認、顔合わせ日程調整、内容折衝）
- スマホ教室等伴走支援 等

この事業を担当したアドバイザー 松井 朋子

【東山区】

住んでこそ！東山プロジェクト アップサイクルライフ東山プロジェクト～お試し居住～

【事業概要】

第3期東山区基本計画に掲げる「人口減少に立ち向かう取組の展開」、具体的には、『住んでこそ！東山プロジェクト』を進めるにあたって、東山区の独自性（例えば、陶器産業等）を盛り込みつつ、区民・事業者・行政がそれぞれの持ち味を生かしながら連携し、定住・移住意欲を喚起する方策の検討を進め、新たな住環境や活力の創出を図る。

中でも、アップサイクルライフ東山プロジェクトでは、区内の宿泊事業者（ニシザワステイ、ノーガホテル清水京都）と東山区役所が連携し、3日から1週間程度の短期間、東山区に滞在する間に東山区に住む魅力を体験してもらうだけでなく、伝統工芸作家・職人や地域住民、実際に移住した方や他都市と東山区との二拠点居住者等の話を聞くなどして、地域の課題についても認識を深め、東山区の関係人口創出につなげる取組（お試し居住事業）を進めている。



【役割／関わり方】移住者、二拠点居住者の発掘。伝統工芸作家・職人へのアプローチ。お試し居住の来訪者（モニター含む。）のスケジュール調整及びまち歩きのアテンド。

- 移住者、二拠点居住者の発掘については、地域の会議や「東山くらしよし」「しゃべくり大作戦」などの会議に出席して調査を行った。
- 伝統工芸作家・職人へのアプローチは、東山区まちづくり支援事業の採択団体からの情報を下し、お試し居住の来訪者が持つ興味・関心やスキルとを鑑みながらマッチング可能な作家、職人や地域住民を選出した。
- お試し居住の来訪者のスケジュール調整とまち歩きのアテンドは、当該事業の目的を達せられるよう、リアルな東山区の姿を体験してもらえようプランを企画し、まち歩きでは東山区の魅力や課題について解説を行った。

住んでこそ！東山プロジェクト 未来の住むまち東山をつくる交流会～みらひがし～

【事業概要】

「住んでこそ！東山プロジェクト」の一つとして、新たな取組や事業にチャレンジする人たちがつながり、互いに応援し合えるコミュニティをつくるための「未来の住むまち東山をつくる交流会～みらひがし～」を開催し、東山区で活動している方やこれから活動したい方、区への移住者などで東山区の活動を知りたい方等が互いの交流を通じ、つながりの構築及び相互連携を促進するための機会の提供を行う。

【役割／関わり方】企画運営に対するアドバイス。プレゼンターの推薦。参加団体、参加者への声掛けと連絡。当日の進行補助。

- 企画運営に対しては、委託会社との会議に出席し、昨年度の反省点を考慮し改善に向けて意見を述べた。
- プレゼンターの推薦を行った。参加団体と参加者への声掛けは、「お試し居住」のアテンド先の作家と職人、区役所支援事業採択者、地域団体に対して行った。
- 当日の運営では、参加者同士が円滑に交流できるよう目を配った。

この事業を担当したアドバイザー 天岡昌代

【山科区】

山科まちづくりチャレンジ応援事業

【事業概要】

山科区では、令和6年度、区基本計画に基づき、山科に関わる一人一人の誰もがいきいきと地域活動を担えるまちを目指し、山科区内で新しいまちづくり活動の第一歩目をチャレンジしたいという思いを持った方＝まちづくりチャレンジャーをしっかりと応援する「山科まちづくりチャレンジ応援事業」を実施しました。

まちづくりアドバイザーは、まちづくりチャレンジャーとの面談、活動の並走支援、制度の課題抽出と対策の検討などの側面に関わりました。

令和6年度「山科まちづくりチャレンジ応援事業」
山科区役所では、区内で新しいまちづくり活動の第一歩目をチャレンジしたいという「思い」を応援する「山科まちづくりチャレンジ応援事業」を開始します。

支援内容

補助金の補助率 10/10 ※上限額5万円	まちづくりアドバイザー等による 随時相談受付 ※要予約(令和6年度内)	WEB会議 イベント用機器 貸出 ※要予約
------------------------------------	--	-----------------------------

募集期間 **令和6年4月22日(月)～令和7年1月17日(金)**
受付:平日9:00～17:00

対象事業

①区内で新しく地域コミュニティの活性化やまちづくりの活動にチャレンジをしようとする個人または団体は、山科区基本計画の推進(※)に資するような、新しいチャレンジ要素のある事業
※詳細は、区ホームページ等でご確認ください。

②令和6年4月1日～令和7年3月31日の期間に行われる事業
【上記の条件を満たしていても補助対象外となる場合があります。】

●このような方々におすすめです！

説明会を開催！

【役割／関わり方】

- まちづくりチャレンジャーとの面談と、活動の並走支援。
- 制度運営上の助言や、関連する資料の作成。
- 制度の課題抽出と対策の検討。

中高生年代の居場所「ゆうすぺーすやましな」事業

【事業概要】

山科区では、令和6年度、区基本計画に基づき、地域ぐるみで子どもの学びを応援しています。その一環として、(公財)京都市ユースサービス協会と連携し、地域ぐるみで子育てを見守るため、また、校外で子どもたちが学び・成長する場づくりとして、山科区役所の庁舎を活用し、山科南部エリアにおける中高生年代の活動場所（通称、「ゆうすぺーす」）を設置しました。

まちづくりアドバイザーは、制度設計の前段階での関係者へのヒアリングや、これを踏まえた山科の子育て課題の抽出、企画コンセプトの設計助言などの側面に関わりました。

**ゆうすぺーす
やましな**

中高生年代が
ゆるりと過ごせる場所。

↓↓できること↓↓

Wi-Fiあるよ。	ボードゲームあり。 手ならであそべるよ。
自習もできるよ。	予約なしでつかえるよ。 (土日OK！)

など

オープン 原則 月・金曜日(祝日はお休み)
15:00～18:00

対象 中学生から高校生年代

会場 山科区役所1F 図書館センター
(京都市山科区南山科1-4-2)

【役割／関わり方】

- 制度設計の前段階での関係者へのヒアリング。
- 山科の子育て課題を抽出し、資料を作成。
- 企画コンセプトの設計において助言。

山科区役所 担当アドバイザー 谷 亮治

【下京区】

学区のまちづくり活動支援

【事業概要】

下京区・醒泉学区では令和3年に自治連合会の下部組織として、「まちづくり委員会」を設立し、防災まちづくりマップ及び防災まちづくり計画の策定、防災まちあるきの実施等、「防災まちづくり」を進めてきました。今年度は新たな取組として、マンション防災の取組や、改訂した避難所運営マニュアルを活用した訓練等を実施しました。



【役割／関わり方】

- まちづくり委員会定例会議、コア会議への出席
- 防災まちあるき、HUG体験、避難所開設訓練等、イベント運営の支援
- マンション防災の取組に向けた事例等の情報収集、委員会や区役所への情報提供
- 新しい人材等とのマッチング・連携促進支援
- 来年度を見据えた取組等の方向性のアドバイス 等

市民対話会議

【事業概要】

市民対話型の市政を推進するために、市長や市職員が市民の皆様と対話を行い、いただいた意見等を市政に活かしていくことを目的とした「市民対話会議」を開催しました。地域団体やNPO、事業者、学生、中間支援団体など約30名に御出席をいただき、それぞれのお立場で力を入れておられる取組や課題に関連することなど御意見いただきました。



【役割／関わり方】

- 企画運営全般への助言
- 参加しやすいWSプログラムの設計・企画立案・調整
- 参加の声掛け・事前ヒアリング・参加者調整のサポート
- 当日の全体進行・全体調整 等

この事業を担当したアドバイザー 浅田 真実

【南区】

複数課の連携による「親子防災ワークショップ」の開催サポート

【事業概要】

区役所地域力推進室（総務防災担当）とはぐくみ室との連携によっておこなわれる親子防災講座の 2 回目を実施。当該地域の防災や子育てにはどんな課題があるかを、担当課と話し合いながら企画しました。

女性防災士の講師に、子育て要素を加味した講座を依頼し、座学の時間だけでなく、実際に動いて体験するプログラムを実施することで、親子が一緒に防災意識を高めていけるよう務めました。



【役割／関わり方】

当該地域の地域防災や子育ての課題を話し合いながらの講座準備の助言

- 地域防災と子育て中の保護者の関心の接点がどこにあるのか、地域から期待される担い手層が持つ不安や欲しい情報は何かについて丁寧に現状を共有しました。
- 民間の子育て関連団体や親子が訪れる場所に参加や掲示協力を呼びかけました。今後の地域づくりのためにも親子らが出会える場となるよう地域を回りました。
- 参加者からの防災への不安や情報入手についての相談に対応しました。

地域の取組発信「情報ステーション」事業への協力

【事業概要】

情報ステーション事業「みなみなみなみオンライン」では、区民レポーターと共に SNS 等で南区の魅力を発信しています。レポーターが気軽に取材先を考えられるよう、定期的に催しの案内などの情報を提供しました。

また区役所の SNS 発信の強化に合わせ、アドバイザーによる記事も提供しました。レポーターらの取材対象を補完すべく、インターネットでの案内がない取り組みや学区を超えて参加できる行事についての記事を取材・執筆しました。



【役割／関わり方】

レポーター同士の相互交流や記事の褒め合いが生まれるような場づくりへの助言

- SNS 発信講座やレポーター交流会で、地域の行事のを見つけ方などをお話しました。
- レポーターコミュニティに対して、近い時期のイベント情報などを提供し、掲載されたレポーターの記事へのよかった点をコメントするなど、励ましになるような投稿をおこないました。
- 区民レポーターが取材しづらい分野を中心に、取材と執筆をおこない、区の既存事業の担当者や市の担当部署などに情報を共有しました。

この事業を担当したアドバイザー 加藤 ゆうこ

【右京区】

民生児童委員の活動継続のための意見交換と事例集作成

【事業概要】 活動上の不安や負担感などから担い手の確保が困難になっている民生児童委員について、民児協学区会長が日々直面する困りごとや課題、それに対応した経験などを意見交換する「みんざく」を開催しました（計4回）。意見交換の内容は、各委員がやりがいと自信をもって活動していただけるように「みんざくトーク集（対応事例集）」としてまとめました。



【役割／関わり方】 意見交換の方法の提案やプログラム設計、実施

- 民生児童委員の活動継続に向けた手法等の検討会の企画・立案についての支援。
- 毎月の会長会の中で意見交換を実施したため、時間は40分程度しか取れないという制約の中でのプログラム設計。
- 初回は幅広く困りごとについて話し合い、深めるべきテーマを探り、テーマごとに3回に分けて意見交換を実施。毎回、全体進行役と意見交換のファシリテーターとして参加。
- みんざくトーク集の作成支援。

区民の自主的なまちづくり活動の情報収集や交流会運営

【事業概要】 まちづくり交流拠点 MACHIKO、右京ファンクラブによる右京 M-1（まちづくりワン）グランプリや運営委員推薦事業、志縁団体・地域団体など、右京区役所のまちづくり支援で接点ができた活動団体の情報を把握し、「右京ファンクラブねっと」での発信や、右京区まちづくり大交流会の企画運営を行いました。



【役割／関わり方】 ヒアリング・取材などによる情報収集、企画運営など

- MACHIKO 利用団体へのヒアリング実施。
- 右京 M-1（まちづくりワン）グランプリ応募団体や運営委員推薦事業の活動の視察・取材。
- 右京区社協の交流事業「う・ふ・ふ」参加団体に関する情報収集。
- 右京区まちづくり大交流会のプログラム作成支援・当日運営。

この事業を担当したアドバイザー 佐藤 友一

POP UP! 西京

【事業概要】

令和 6 年 2 月に西京区役所東庁舎が完成し、区民交流ロビーが誕生。西京区内の人や情報が交わる場を目指し、交流イベント「POP UP! 西京」をスタートしました！福祉作業所を中心としたコーヒーやお菓子、雑貨などを販売するマルシェの実施。また、西京区社会福祉協議会と連携した居場所の取組などを通じて、賑わいや交流が生まれています。



【役割／関わり方】

多様な主体の連帯によるイベント実施を支援

- ヒアリングなどを通じた、福祉作業所の出展を支援。
- 区社協などと連携した、居場所づくりをサポート。
- 広報や空間構成など、魅力的なイベントに向けた演出をサポート。

西京まると出産応援事業

【事業概要】

地域で活動する主任児童委員を中心に、子どもが生まれた世帯を訪問し、地域のつながりや子育ての不安を解消する「はじめまして赤ちゃん訪問事業」。事業のさらなる充実に向けて、主任児童委員や児童館、保育園の先生たちとワークショップを実施し、事業の充実や周知方法の工夫、お祝いギフトの検討を行いました。また、ICT を活用した申込や事務作業の簡素化なども図りました。



【役割／関わり方】

事業の企画や運営を支援

- ワークショップのプログラム設計や運営をサポート。
- 広報やマニュアル作成、ギフト内容などに関するアドバイス。
- 申込や事務作業の負担軽減に向けた、オペレーションの整理やICT 導入をサポート。

この事業を担当したアドバイザー 西原 秀倫

【洛西支所】

「らくさいマルシェ」の今後についての検討

【事業概要】

洛西支所が、実行委員会の一員として参加する「らくさいマルシェ」は、毎月最終土曜日に手作り市「らくさいマルシェ」を開催することで、洛西地域への交流人口を増やし、地域の魅力を広く発信しています。

令和6年7月に10周年を迎え、11年目を運営する中で、持続可能な運営を目指したらくさいマルシェの在り方について実行委員会で協議検討を進めました。



【役割／関わり方】

- らくさいマルシェ実行委員会への出席、進行補助
- 10年間の実績を踏まえた今後の展開に向けての検討や資料作成の支援
- 賑わいづくりの企画実現に向けての調整や、関係団体の巻き込みなど
- 他地域のマルシェ事例収集

大原野「地域ブランド」戦略期間満了後の展開についての検討

【事業概要】

なんやかんや「大原野」推進協議会では、大原野「地域ブランド」戦略が、令和6年度に10年の期間を満了することに伴い、同戦略の点検・総括を実施してきました。

令和6年度は、つなぐ・つながる「大原野」づくり検討委員会を設置し、将来的に地域で活動する人たちのつなぎ手となるように、今後の展開を検討し、つなぐ・つながる「大原野」づくりプロジェクトを策定しました。



【役割／関わり方】

大原野「地域ブランド」戦略期間満了後の展開についての検討におけるトータルサポート

- つなぐ・つながる「大原野」づくり検討委員会の設置にむけた支援（委員選定等）
- 「大原野 meet up!」の企画立案、参加者呼びかけ、進行補助
- 検討委員会の企画運営における支援、委員会のグループ進行
- 広報物「Hello! Oharano」制作、取材協力や地域交流の場づくり

【伏見区役所】

区民活動の広がり、継続に向けたサポート

【事業概要】

これまで多くの方々が区民活動支援事業を活用されてきました。区民活動支援事業を活用される際のサポートとともに、活動の継続や団体の運営に向けたサポート、またこれから何か始めようという方の次の一歩を考えるサポートを行っています。

そのために、区内のさまざまな活動の場に出向き、情報交換や場合によっては相談に乗るなど、小さなやりとりの積み重ねを大切にした取り組みを進めています。



【役割／関わり方】

市民活動、地域活動の継続や今後の運営、困りごとや最初の一步に関するサポート

- 区民活動支援事業への申請書に関するサポート
- 活動の継続や今後の展開に向けた相談、アドバイス
- 区内のさまざまな活動の場に出向いて、情報共有・情報収集

地域の活動、関係機関などのつながりづくりのサポート

【事業概要】

地域のまちづくりには、幅広い分野の部署や事業所が各々のミッションをもって関わっていきます。それらの個別の取組をつなぐこと、また地域の活動と市内の中間支援団体をつなぐなどでより効果的な地域のまちづくりを進めていくことができます。

市役所や民間事業所と地域、福祉や住宅分野とまちづくりなど、これらの接点を作る取組を区役所のみなさんと進めています。



【役割／関わり方】

地域と幅広い分野の部署・事業所などの連携に向けたサポート

- 地域での連携づくりに向けた、各々の事業へのアドバイスやサポート
- 幅広い分野の部署・事業所との情報共有

この事業を担当したアドバイザー 朝倉 真一

【醍醐支所】

多様なセクターが連携した子ども・ユース支援の実施

【事業概要】

今年度、醍醐では、大学・企業・支援機関等、多様なセクターが連携した子ども・ユース世代向け事業が実施されました。

醍醐支所は、京都橘大学と連携した「3D プリンター体験教室」、NPO 法人さとやまワクワク研究所等と連携した「自然体験教室」などを実施。小学生が最新技術や自然の豊かさに触れ、普段の学校教育ではできない学習・体験をする機会を提供しました。



また、醍醐いきいき市民活動センターでは、子ども・ユース世代から、まちや大人への思いや意見を聞き出す「U-30 やんちゃミーティング」や、子どもが将来の夢を発表する「醍醐ゆめコレクション」を実施。ユース世代が安心できる居場所をつくる「醍醐みらいユースセンター」も開始されました。多様な主体が運営に参画し、まち全体で子どもをはぐくむ取組が広がりを見せています。

【役割／関わり方】

行政機関・民間企業・NPO・大学等が協働し事業を実施する機会創出・合意形成支援

- 参画主体それぞれの強みが活きる企画や連携体制づくりへの助言
- 異なるセクター同士が協働する際のファシリテーション

重層的支援体制に向けた「つながるプラットフォーム meeting」の実施

【事業概要】

醍醐支所では、地域の様々な団体が横断的につながり、地域全体で様々な福祉ニーズに応える「重層的支援体制」の構築を目指して、「つながるプラットフォーム meeting」を実施しました。

支所職員や福祉事業者だけでなく、子育て層・高齢者に向け活動しているまちづくり活動団体、それぞれの分野のコーディネーターらが一堂に集まりました。普段顔を合わせることが少ない方同士も親密に話せるよう、屋外でたき火を囲むカフェ・ミーティングの形で実施。参加者は、互いの活動内容や背景にある思いを語り合い、福祉とまちづくりの分野を超えたつながりが生まれました。



【役割／関わり方】

多様な地域組織同士が出会い、活動内容を相互に理解する場づくりへの助言

- まちづくり活動団体への情報提供と参画呼びかけ
- 参加した各分野の団体が関係を深められる運営方法について助言
- ミーティング当日の進行補助・ファシリテーション

この事業を担当したアドバイザー 山田 大地

【地域コミュニティサポートセンター】

自治会・町内会に関する情報収集・発信

【事業概要】

地域コミュニティの中でも自治会・町内会は、住民同士で身近な地域の自主的なまちづくり活動を行う任意団体で、その困りごとや対処方法は、世帯数や成り立ち、活動内容などによって様々です。市の相談窓口では一般的な回答に留まるため、より運営や活動の参考にいただけるよう、様々な地域特性に応じた具体的な事例をできるだけ多く収集し、ホームページなどで発信しています。中でも、他の地域の参考になる事例は、きっかけや経緯、関わられた方々の思いなどを詳細に取材して記事にしました。また、区役所・支所事業や地域コミュニティ活性化推進審議会、新規採用職員研修などでも、住民同士のつながりづくりに関する活発な意見交換が行われるよう情報提供を行いました。



【役割／関わり方】

地域に出向いた情報収集、取材調整や記事作成、庁内外の情報発信に関する企画全般

- 京都市新規採用職員向け地域コミュニティ研修の企画づくりをサポートした。
- 地域の方々へ担い手づくりにつながる事例を紹介し、意見交換のきっかけを作った。
- 収集した事例をもとに、担い手づくりや負担軽減につながる要因を分析した。

「ええやんっ！まち活！」ブース

【事業概要】

左京区民ふれあいまつり 2024 (令和6年11月4日開催)で、自治会・町内会をはじめとする地域コミュニティについて気軽に話せるブースが出展されました。『まちづくりDAO (まちづくりを面白いがる市職員による有志グループ)』にも企画運営に協力してもらい、住んでいる場所を巨大マップにシールで貼る「マップコーナー」、自治会・町内会のいいところや直してほしいところなどを聞く「ホンネアンケート」のほか、「町内会インタビューコーナー」や「ちょこっと相談コーナー」など、来場者と積極的にコミュニケーションを図る工夫を取り入れ、前向きに活動に取り組まれている方々の声を直接伺うことができました。



【役割／関わり方】

企画立案、関係者調整、当日運営と振り返りのとりまとめ

- 左京区役所やDAOと連携し、ブースの企画運営をサポートした。
- 工夫して活動されている地域の方に、インタビューを依頼した。

この事業を担当したアドバイザー 小林 明音